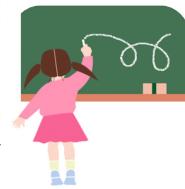


# まちゼミ



第17回まちゼミ開催

のご案内です。

『街から学ぶはちおうじ』をテーマに、お店の人々が講師となつて、専門店ならではの知識やコツを教える得するまちのゼミナール。

もともと、愛知県岡崎市の商店街からはじまつ

たこのイベントも、全国47都道府県一六〇か所以上で行われるようになりました。

普段、ちょっと敷居の高い専門店に、気軽にお寄りいただけるよう、消しゴムはん、やお菓子づくり、芸妓さんの指導による日本舞踊エク

ササイズ、座禅体験など、楽しい講座が目白押しです。開催期間は3月中。人気講座は既に予約が満員になつておりますが、チラシをお配りしてありますので、ご笑覧くださいませ。まちゼミの参加店は、講座以外に訪問でも、いろいろなウ

ンチクを親切に教えてくれるはずです。皆様のお運びをお待ちしています。彼岸中は、仏壇を清め、お墓参りをしますね。仏教が根づいている国の中でも、このような習慣があるのは、日本だけだそうです。なぜ、彼岸にお墓参りをするようになったのかは不明ですが、古来の先祖崇拜の習わしを取り入れることで、仏教を広めようとした聖徳太子のアイデアだとも。ちなみに彼岸とは、迷いのない悟りの境地で、私達が暮らす迷いに満ちた俗世を、此岸と呼ぶ

発行元  
網代園  
八王子市  
横山町10-14  
042(643)0333  
日本茶インストラクター  
茶育指導士  
網代邦子

3月の店休日  
5, 12, 19, 26日  
(毎週土曜日)  
営業時間  
9:30~19:00  
(日, 祝  
9:30~18:00)



Facebook



Instagram



## お彼岸

前号でもお知らせした  
庵(ひさし)は出来上がったのですが、扉の塗装に時間がかかるります。何度も上塗りした塗装を、一度全ではがす

前回に引き続き、お茶壺道中の秘密です。茶師は、将軍家へお茶を納めるだけでなく、禁裏御所や、諸大名など、全國の上流階級すべてに通つおりました。それぞれ奥の台所にまで立ち入つておりまして、お家の内情を

知ることも可能でした。  
商人でありながら、名字帯刀が許され、破格

## お茶の歴史《七》

た機密文書を届けるためたつたといふ。『お茶壺スペイ説』がささやかれているのです。宇治は都に近く、茶壺は軽くて、移動に最適だったのです。

(本間美加子氏著より)  
小山茂樹氏著書  
より)



庵(ひさし)は出来上がったのですが、扉の塗装に時間がかかるります。何度も上塗りした塗装を、一度全ではがす

作業が、思いのほか大変だそう。その上、薬品を使うため、「においが気になる」といけないから」と、寒い夜間工事をしてくださり、塗装屋さんには申し訳ない限りです。お彼岸の頃には、お色直しが済んだ蔵をお見せできるかと思いつつ、楽しみにしていただけました。したら幸いです。



李節の変わり目でございます。皆様、くれぐれもお体を大切に、おいといくだ

## 編集後記